

行政改革分科会活動状況報告

分科会名	人事給与に関する分科会	分科会長	税務課長 岩佐眞澄
分科会 開催日	16.11.1 (全体会議)		
	16.12.3		
	16.12.22		
	17.2.3		

主な活動状況

飛騨地域の市町村の給与の状況 (平成16年度ラスパイレス指数)

下呂市	90.8	国府町	96.1	宮村	87.7	清見村	90.4
高山市	100.5	久々野町	90.3	朝日村	89.6	丹生川村	91.0
飛騨市	95.9	荘川村	88.3	高根村	90.5		
		白川村	88.7	上宝村	92.5		

ラスパイレス指数：国の職員の給与を100とした場合の市町村職員の給与の割合

【現状と課題】

職員の給与水準に対して、市民の批判の声が大きい。

平成18年度までは、一般行政で定年を迎える職員が少ない。

同学歴、同年齢の職員に、他の合併自治体には例がないほど大きな給与格差がある。

将来的に人件費の削減は、必ず行わなければならない課題である。

勸奨退職等による職員の削減。

管理職を対象にした希望降格制度の導入

職員の給与水準の適正化

退職職員の動向や人事異動（公営企業会計との関係）、定員適正化計画なども含めて、短期で解決することは難しく、計画性をもった改善が必要である。

職員の給与調整を給与の延伸（昇給の一時停止）等、現行制度の中で行っておかなければ、次の展開が困難となる。

17年度人事に反映されるよう執行部と協議。